

# 班通信

No. 3



ヒマワリ

令和4年8月10日  
さいたま市  
岩槻班退職校長会  
事務局:090-5826-3329(岡野)

## 企画研修会「岩槻人形博物館のコレクションを通して日本人形の文化を学ぶ」開催される

今年度第1回の企画研修会が有職者に配慮して7月23日(土)14:30から岩槻人形博物館において開催されました。猛暑の中でしたが、23名の参加者があり、人形への造詣を深めるとともに、旧交を温められる有意義な研修会となりました。

会長あいさつに続いて第1部では、岩槻の職人による人形作りの過程[頭づくり(生地づくり、胡粉塗り、目きり、髪つけなど)、胴体づくり(衣装着と木目込みの違いなど)]をDVDを見ながら、各過程を学芸員に解説していただきました。第2部は、博物館の日本人形のコレクションを見学しながら、御所人形、武者人形、古今雛、有職雛、享保雛、嵯峨人形、衣装着人形、市松人形、加茂人形などについて、それらの特徴と生まれてきた時代的背景などを細かく解説していただきました。さらに当初の予定になかった第3部の企画展示「郷土玩具〜赤色おもちゃ〜」まで解説していただき、充実した研修会になりました。

今回は市内各班の会長さん宛に開催案内を配布し周知をお願いしたところ、班外から4名の参加がありました。今後も機会をみて他班との交流を図っていきたいと思います。参加いただいた皆様、岩槻人形博物館の菅原学芸員、スタッフの皆様にご心から感謝申し上げます。



古今雛

## 令和5年度の「新役員選出」に向けて

今年度末に役員改選が行われます。一昨年度からの事業改善により、役員の仕事等が大きく変わってきています。また、高齢化や有職者の増加等に伴う運営上の課題も浮かび上がっています。現在、これらを踏まえて実質的に活動できる役員をどう選出するか「岩槻班退職校長会役員選出改善委員会」で検討しているところです。

## 「日帰り研修会」の計画決まる!

- ・実施日 令和4年10月21日(金)
- ・行先 栃木県足利市方面
- ・経費 1万円(当日集金)

この度担当者による現地見も行き、計画が決定しました。今年は集合時刻も8:00以降とゆっくり目に設定されていますので、是非ご参加いただき、鎌倉・室町時代の史跡等に改めて目を向けていただけたらと思います。ワイナリーでは国産ブドウのワインを試飲できます。詳細なご案内と参加申し込みは9月に配布します。

### ○主な見学地

・**史跡 足利学校** 宣教師フランシス・ザビエルも海外に紹介している日本最古の学校。大正10年国の史跡指定、平成27年日本遺産認定。1990年復元が完了し、現在江戸中期の姿を目にすることができる。

・**鏝阿(ぼんな)寺** 大正10年国の史跡指定、日本の名城100選。足利氏の館跡に、鎌倉時代に建立された真言宗の寺院。足利氏の守り本尊大日如来を祀る。

・**ココ・ファーム・ワイナリー** 1958年公立中学校の特殊学級(現特別支援学級)の担任川田昇氏が私財をなげうって生徒たちとブドウ畑を開墾したことが始まりの施設。1969年障害者支援施設「こころみ学園」を設立、更に1980年ココ・ファーム・ワイナリーを設立。学園生たちは「手間を惜しまず、人の力を尽くしてできることをやる」をモットーにブドウ栽培に汗を流してい

## 岩槻市退職校長会の記録を探しています

本会の設立以来の歴史を知るための記録・資料を探しています。文書や写真、名簿などなんでも結構です。情報は次の編集担当までお寄せください。

大河内哲二 電話・FAX 048-756-2248

E-mail tetsuoh03@yahoo.co.jp

## 季節だより



### コガネグモ

腹部に黄色と黒の横縞模様をもつ体長20~30mmにもなるクモで、明るい草原の上に、中央にX字状の白い糸の帯をつけた大きな円網を張り、2本ずつそろえた脚をその白帯の上に置いて居座ります。本州以南に分布し、夏に現れる日本を代表する大型のクモです。かつては岩槻周辺では農家の庭先などでも見られ、その粘着性のある網を針金の枠に巻き取り、虫取り網の代わりに使った経験を持つ人もいることと思います。現在は草地の減少や管理放棄による荒廃、過度の人為的かく乱等で個体数を減らし、区内では元荒川緑地や赤坂沼など池・沼の周囲の草地等で見られる程度になってしまい、埼玉県の「準絶滅危惧種」に指定されています。